

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	高齢者保健福祉月間事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	長寿社会 部	長寿支援 課	評価責任者(課長名)	羽野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	昭和 38 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	老人福祉法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	9月は高齢者保健福祉月間であり、全国的に自治体がそれにちなんだ行事を実施しており、本市でも金婚者の集い、高齢者福祉大会、敬老祝品の贈呈などを行ってきた。また、平成18年度には敬老祝い金の見直しを行い、それまで米寿、喜寿等のお祝いに祝い金を送っていたものを見直し、平成28年度から100歳の方への祝品(カタログギフト)贈呈を廃止した。また、高齢者福祉大会及び高齢者教養大学についても見直しを行い、平成29年度をもって廃止した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	結婚50周年を迎えた夫婦(金婚者の集い) 堺市内在住100歳の方、男女市内最高齢の方(敬老祝品)			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	高齢者の方々の長寿のお祝いや結婚50周年を迎えた夫婦をお祝いすることで、高齢者のさらなる長生きや生きがいづくりに寄与する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	【金婚者の集い】堺市在住の結婚50周年を迎える夫婦をお祝いする。 【敬老祝品贈呈】長寿のお祝いとして市内在住の100歳の方、男女市内最高齢の方に記念品を贈呈する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 株式会社サカイフォート				

Ⅲ. 投入量

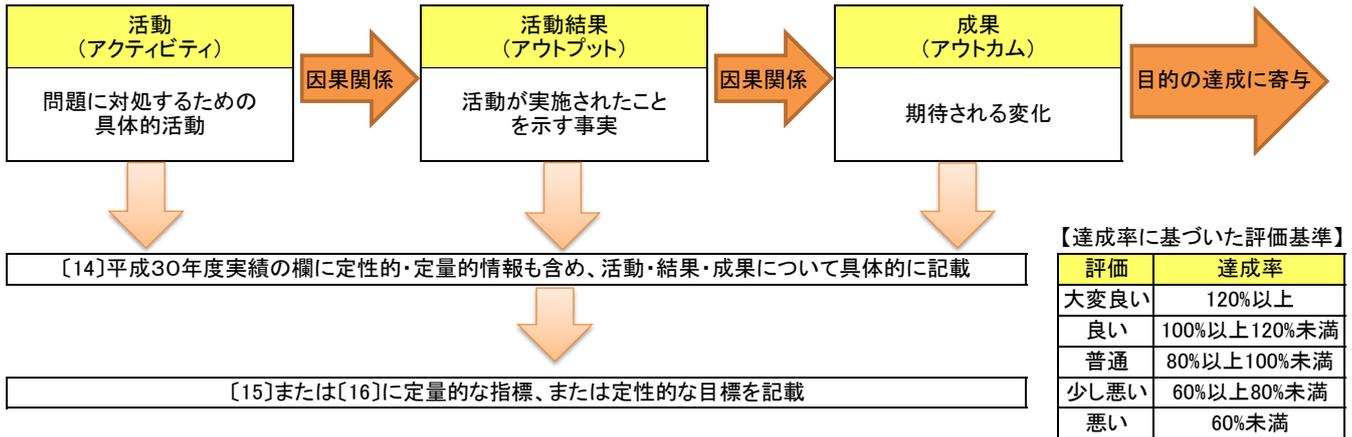
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	2,632	2,261	1,013	1,144	
	主な事業費内訳	報償費	千円	477	456	102	125
		委託料	千円	1,780	1,445	419	507
		その他	千円	375	360	492	512
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	3,790	3,790	3,790	3,750	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,422	6,051	4,803	4,894	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	高齢者保健福祉月間事業	シート番号	11-079
-------	-------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>○100歳祝品の贈呈者数については、贈呈希望者全員に祝品を贈呈することができた。 平成30年度 対象者数 189名 贈呈希望者数 161名 贈呈時期: 9月下旬～10月初旬</p> <p>○金婚者の集いについては、これまでは夫婦ごとに写真撮影を行い、その写真を記念品として贈呈していたが、平成30年度からは、グループでの集合写真に変えて実施した。また欠席者への祝品を廃止した。 平成30年度 参加組数 161組 実施場所: 国際障害者交流センター ビッグ・アイ</p> <p>○上記により、高齢者にとってさらなる長生きへの励みとなり、生きがいづくりに寄与した。</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		100歳敬老祝い品贈呈者数	人	目標値	—	—	—
				実績値	171	146	161
				達成率	—	—	—
				評価	—	—	—
		算出方法・設定根拠など		目標値については、贈呈を希望しない方や敬老の日までに亡くなる方がいるため、設定できない。			
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		金婚者の集い参加組数	組	目標値	380	380	380
				実績値	379	363	161
	達成率			100%	96%	42%	
	評価			良い	普通	悪い	
	算出方法・設定根拠など		参加組数については、夫婦で一人のみの参加についても、一組として計算している。				

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	敬老祝品については、贈呈を希望しない方や、敬老の日までにお亡くなりになる方がいるが、対象者数の内、贈呈を希望する方については、全員贈呈することができている。 金婚者の集いについては、これまでの夫婦ごとの写真撮影からグループごとの集合写真撮影へと内容の見直しを行ったことが、参加組数の減少につながったと考えられる。また後に取ったアンケートからも、夫婦ごとの写真撮影が良かったとの意見が多かったことから、満足度も昨年度に比べ低いものであった。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。